

## <2013 年度修学旅行研究会開催報告>

日 時:2013 年 11 月 14 日(木)

場 所:名古屋市都市センター会議室

発表校:豊田市立松平中学校

テーマ:「郷土に誇りをもてる生徒の育成 ～特産物販売体験を通して～」

### 【修学旅行の位置付け】

総合テーマ「ふるさと松平に生きる」ーふるさとを愛し、ふるさとを生かすー

1年 松平を知ろう わくわくドキドキ大作戦

2年 仕事を知ろう 松平に恩返し 上級学校を知ろう

3年 松平アピール大作戦

### 【修学旅行の日程】

1日目 松平 → 松平アピール大作戦(早稲田周辺) → 夕食(台場) → 隅田川クルーズ → 浅草

2日目 浅草 → 国会議事堂見学 → 東京班別研修 → 東京ディズニーランド研修 → 舞浜

3日目 舞浜 → 学級別研修 → 松平

### 【松平アピール大作戦の実施】

早稲田の商店街まるごと修学旅行生実習体験ツアーの利用

「販売促進部」「宣伝部」の活動(事前、当日)・・・パンフレット・ポスター・チラシの作成と配布、販売

### 【事後活動】

総合的な学習「松平をプロデュース」

松平地区にある食材を使った新しい特産物とその食材を作っている方と一緒に考え、文化祭で販売

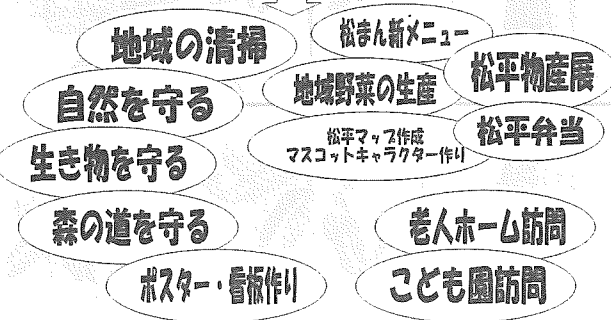
### 【参加者からの意見】

- ・ 郷土を大切にしたいキャリア教育の素晴らしい取り組みである
- ・ 食品販売の安全性の確保が大切である。
- ・ 各大学が地元の商店街と連携して、ボランティア活動としてすすめている。
- ・ 3年間を見通した活動であり、地域に愛着、誇りをもつことができた取り組みである。

平成 26 年度は、名古屋市立笹島中学校の事例発表を予定している。

総合的な学習イメージマップ

「ふるさと松平に生きる」  
「松平に わくわくドキドキ 大作戦！」  
松平人になるために、私たちができることは何か?



### 3 修学旅行の計画

生徒たちが、1・2年生の総合的な学習の時間に地元の人から学び、考えたことは、「自分たちも地域の一員として、松平のために何かやりたい」ということであった。その具体的な活動としては、地域の清掃活動や学校の目の前にある岩谷山の整備活動である。2年生では、松平の地域に恩返しというテーマで、地域の人々を招いて、昔遊びやお年よりも楽しんでもらえる文化祭を企画した。そして、3年生では、松平のことを、より多くの人に知ってもらえるような計画を立てた。

2年生の職場体験の際に旅行社で体験をした生徒が、「東京で地元の物産を販売する体験ができる」という発表をしたことを受け、修学旅行での体験活動を考えた。

課題への意識を高めるために、テーマを「松平アピール大作戦」として、各学級で松平をどのようにアピールするかを話し合った。その結果、松平の特産品のひとつである「松平まんじゅう」を販売しながら、松平地区を紹介するパンフレットを配布する計画を立てた。

### 4 3日間の行程

「松平アピール大作戦」では、生徒の考えを踏まえ、初日に、松平まんじゅうの販売を取り入れた日程とした。

- 【第1日目】  
松平↓松平アピール大作戦  
(早稲田周辺) ↓夕食(会場)  
↓隅田川クルーズ↓浅草
- 【第2日目】  
浅草↓国会議事堂見学↓東京班別研修↓東京  
デイズニードランド研修↓舞浜
- 【第3日目】  
舞浜↓学級別研修↓松平

### 5 松平アピール大作戦概要

①目的  
本校の生徒は穏やかであるが、人前で自分を表現することを苦手としている。そこで、見知らぬ人に対して積極的にかかわっていく場を設けることで、表現することに自信をもたせたいと考えた。また、それを実現するための計画や渉外など実行に係わる活動を考え、プロデュースする経験を積み上げていくことを目的とした。

②手段(場所)  
全国商店街まちづくり実行委員会(早稲田

特定非営利法人  
全国商店街まちづくり実行委員会(早稲田支部)  
早稲田の商店街まるごと  
修学旅行生実習体験ツアー

商店街の活性化を全国に先駆け活動した早稲田の商店街は「昭和の町早稲田」と言われ、今現在も早稲田の商店街の活動は盛況のみならず多岐に渡る活動となりました。商店街活動・空き店舗対策・地域通商・防災対策・高齢者雇用・障害者就業支援など多くの活動を展開してまいりました。それらの活動は現場を通してご体験いただけるようにと実習を通してツアーを企画させて頂きました。是非ともこの機会にご来街頂けるようお待ちしております。

実習体験内容

- ① 早稲田大学キャンパスツアー  
早稲田大学を大学生によるキャンパスのご案内をさせて頂きます。今の早稲田大学を体験する学生たちがご案内することで大学を近く感じて頂けます。
- ② アトム通商館見学  
早稲田の商店街で使うことのできる地域通貨「アトム通貨」を生徒・先生各お1人につき800円分(800円分)差し上げます。「良い事」すると行う事の出来る地域通貨です。早稲田を見に来てくれてありがとうございますの謝礼を地域通貨でプレゼントさせて頂きます。
- ③ 商店街を自由散策  
差し上げたアトム通貨を使って早稲田の商店街で見学やお買物を体験してください。地域通貨を利用することで早稲田の街を身近に感じることができます。
- ④ 商店街での販売体験実習  
各学級の地元の特産品を早稲田の商店街で販売し地元を宣伝して頂くは如何ですか? みなさんが早稲田に来られる前に商店街を挙げてアピールさせて頂きます。

修学旅行生実習体験ツアー

支部)の「早稲田の商店街まるごと修学旅行生実習体験ツアー」を利用した。

その体験の内容は  
費用 1500円(地域通貨800円含む)  
場所 早稲田大学商店街店舗、商店街周辺の路上販売  
その他 早稲田大学生のボランティアによる  
大学案内

この体験ツアーを利用し、松平の特産品のひとつである松平まんじゅうを販売しながら、パンフレットを配り、松平地区をアピールすることを考えた。

③手立て  
学級ごとに「販売促進部」「宣伝部」などの部署をつくり、それぞれの部署でアイデアを出し合った。  
各部署の活動内容

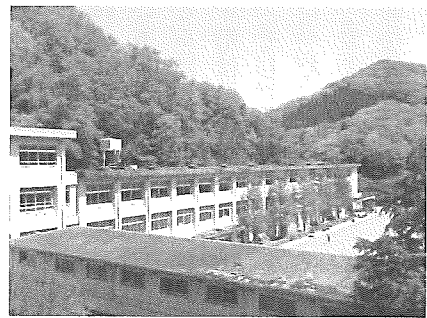
## 郷土に誇りをもてる生徒の育成

～特産物販売体験を通して～

豊田市立松平中学校  
教諭 加藤 浩章

### はじめに

本校は、昭和8(1933)年に設立された松平公民学校を前身とし、昭和22(1947)年に松平村立松平中学校として創立、昭和36(1961)年の町制施行、昭和45(1970)年の市町村合併により豊田市立松平中学校となり、本年度で創立67年目を迎えた学校である。



学校全景

本校は、豊田市東部を流れる巴川流域に位置し、徳川家康の祖松平氏発祥の地である。松平氏の菩提寺である高月院は初代親氏(ちかうじ)をはじめとした墓所である。付近には山城跡や居館跡があり、居館跡には松平東照宮が祀られている。また、中心集落の九久平は巴川舟運終点の河港で七里街道の宿場町、ガラ棒産産で栄えてきた。現在は東海環状自動車道松平インターがあり、第二東名の松平ジャンクションの工事も行われている。

学区内は、先の松平東照宮を含めた松平郷をはじめ、四季折々の溪谷美を見せる王滝溪谷や天下峰、二畳ヶ滝など自然豊かな地区である。また、トヨタ自動車をはじめ豊田市近隣のベッドタウン地域で、在籍生徒数は約410人、学級数13学級と中規模の学校である。

### 1 本校の修学旅行の位置付け

本校は、歴史と伝統に恵まれた松平の風土を基盤とする教育活動を展開するなかで、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる豊かな心とたくましい実践力を育成することを目標としている。そこで1年時より総合的な学習の時間を利用して、郷土「松平」に誇りをもてる生徒の育成を目指して3年間を見据えた取り組みを計画し、その中に修学旅行を位置付けた。

### 2 修学旅行にいたるまでの活動

#### 【1年生】

本校では、総合的な学習「ふるさと松平に生きる」を通して、地域について学んでいる。前期は「地域調べ」を行った。後期は「ふるさと松平 わくわくドキドキ大作戦!」と銘打ち、地域の方にも協力をしていただき、学校近くの岩谷山を整備する活動を行った。

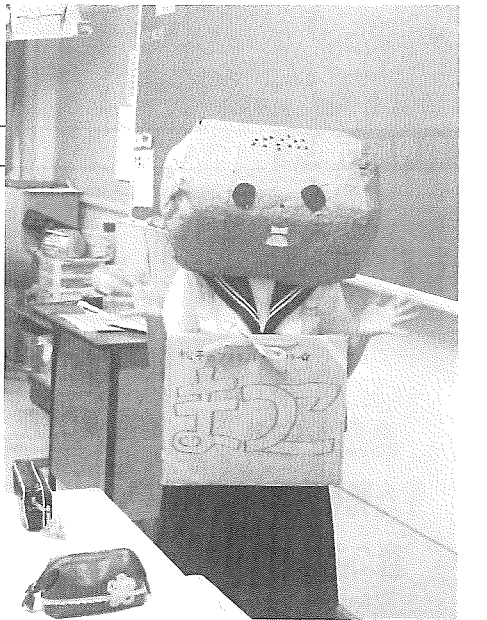
地域への貢献活動を通して、自覚を高めながら松平に住む人々とのふれあいを通して、郷土を愛し、その発展に寄与できる生徒の育成に取り組んだ。

#### 【2年生】

2年生では、前期に職業インタビューを、後期に職場体験活動を実施した。これらの実践をポスターセッションで発表させ、どの職業にも共通する問題点や配慮しなければならぬことを知ることで、より深く職業につ



制作したマスコット兜1



制作したマスコット兜2

○販売促進部

- ・松平まんじゅうを仕入れる。
- ・販売をするためのルールを考える。
- ・販売方法(声のかけ方)を考える。

○宣伝部

- ・松平をPRするためのパンフレットを制作する。
- ・事前の宣伝のためのポスターを制作する。
- ・当日配布するチラシを制作する。
- ・販売時の衣装、昇り旗などを制作する。
- ・PRするためのマスコットを製作する。

④準備の実際

販売促進部では、どのような販売したらよいのかを考え、販売マニュアルを作ったり、練習計画を立てたりした。また「ふるさと本舗」と連絡を取り、値段や販売上の注意事項など確認を取った。

・宣伝部のパンフレット制作の生徒たちは、1年時に松平地区を調べた経験を活かしてパンフレットを作った。また、事前に「こだわり商店」へポスターを送り、大学生協

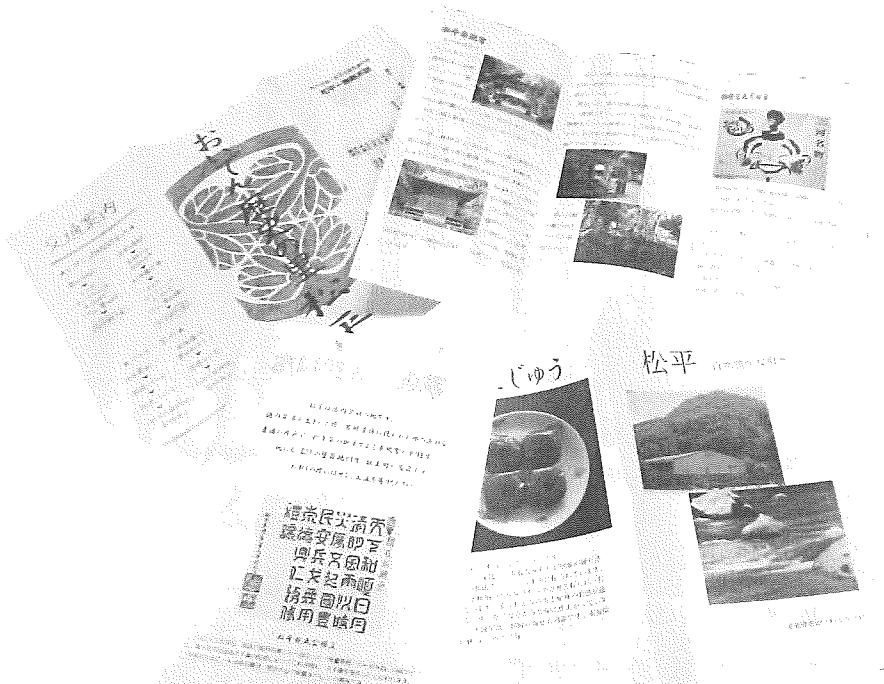
や大学構内、地域の掲示板で宣伝をしても良かった。

・販売時の衣装やのぼり旗、マスコットなど、松平を宣伝できるような衣装を考え、製作した。

⑤当日の活動

○当日の日程

- ・6時45分に松平まんじゅうを搬入(外での



制作したパンフレット



早稲田大学キャンパス見学

販売のため、個別に賞味期限、生産者の記載が必要) 11時30分に到着し、早稲田大学学生食堂で昼食後、始めの会を行って活動開始

・人数が多いため、A班とB班に分け、1時間交代で活動を行った。

○活動の実際

バスの到着が遅れ、到着時から時間が遅れた。昼食時に、早稲田大学のボランティア学

生に手伝ってもらい店舗の準備を進めた。実際は、20分遅れでスタートした。大隈講堂前に集合し、店舗で販売をする生徒と早稲田大学生の案内による大学構内の見学の生徒に分かれての活動を行った。

【大学構内の見学】

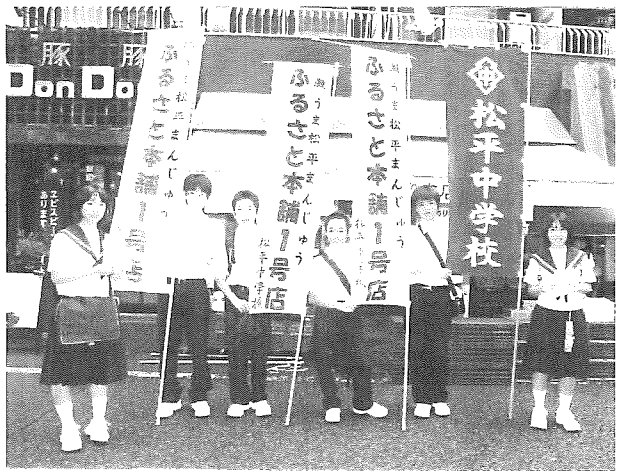
大学構内の見学は今回の活動プログラムの中に入っている。学生寮や大学生協、校内の講義室など大学生の生活の様子を実際に大学生に引率してもらった。(ボランティアの大学生で各班に一名担当者) 最後は、地域通貨を使って、買い物をする時間もあった。

【松平アピール大作戦】

13時10より開始。2クラスが大隈講堂前から店舗へ移動して販売を開始した。

実際は、移動販売をするグループと店舗販売をするグループに別れて活動を行った。当日はあいにくの雨模様ではあったが、事前に貼っていたポスターやチラシなどを見たお客さんが待っていてくれるほど大盛況であった。「松平って松平健と関係があるの」「松平の見所を教えてくださいませんか」など、たくさんのお客さんから声をかけてもらいながら、400個(当初の予定では700個であったが、雨が予想されたため個数を減らした)を完売することができた。

担当の安井さんのツイッターにも「来年も来てほしいです」ともおもしろいまんじゅうでした。もう一度買いに行こうとしたら、売り切れで残念でした」などの声が寄せられていた。



店舗での販売の様子

移動販売班もそれぞれがのぼりを持った。兜をかぶったりして活動を行った。途中で売切れてしまい、あわてて本部へまんじゅうを取りにくるグループもあった。

店舗販売も前半クラスの1時間で、300個近く販売してしまったため、後半クラスのために途中で販売を停止した。

「はじめは、400個も売るのは無理だと思っただけで、あつという間に売り切れて驚いた」「お客さんがたくさんきてくれてうれしかった」「松平のことをアピールできてよかった」と生徒たちの感想にあった。

6 修学旅行時の安全を確保するために

【班別研修時の安全確保のために】

班別研修の際には各班に携帯電話を配付した。コンピュータを使って生徒の位置情報を確認して指示を出すこともできた。また、事前に災害伝言ダイヤルの使い方についても学習をし、迷子になった場合、震災等の災害が起こった非常時の場合、それぞれの状況に応じて、安全を確保し、携帯電話で連絡が取れるように指導した。

【台風接近における対応】

1日目夕刻より台風の接近が予想されたため、出発前日に急遽日程の変更について検討した。台風接近に伴って活動を中止してホテルに待機することや、連泊ではなくホテルに留まることができないため、2日目の昼食の手配などを新たに考える必要があった。また、国会議事堂見学については2日目当日の朝の段階で判断し、連絡するように手配した。実際は1日目の夜半に通り過ぎ2日目は予定通りに活動することができた。

7 事後活動

地域貢献活動の一環として行った「松平アピール大作戦」であった。

生徒たちは、その後の総合的な学習の時間を使って「松平をプロデュース」と銘打ち、松平で作られている農作物を使って、地元の方や農家の方や農業アドバイザーの方に聞いた。調理師の方に相談したりしながら、「抹茶パフェ」や「シュークリーム」「鬼まんじゅう」や「芋団子」などを考案し、文化祭で地域の人々に販売をした。